

画論 32nd The Best Image 受賞報告

カレスサッポロ北光記念病院 中村仁志

はじめまして、北光記念病院の中村と申します。画論 32nd The Best Image への応募から最終プレゼン、受賞までの報告をさせていただきます。

私にとっては『まさか!?まさか!?』の連続でした。というのも今回の応募のきっかけは言わば私にとっては記念受験的な感じでありました（表現が正しいか分かりませんが…）。当院は今春にカレス記念病院に新築移転する予定で、現病院名での画論参加は今回が最後となります。いままで先輩方や同僚が北光記念病院の名で参加・入賞してきた画論に最終年に参加することは自分自身や当院にとっても意味のあることだと思い、下肢閉塞性動脈硬化症の術前評価目的で全身 CTA をダブルレベルのテストインジェクションを用いて撮影するという内容で応募しました。私自身初めての応募で、入賞報告のメールをいただいた時は『まさか!?』と思いました。自信なんてまるでありませんでした。しかし貴重な経験になると思い、東京での最終プレゼンの場に向かいました。当日の会場の雰囲気や各入賞施設の素晴らしい発表に圧倒されながらも何とかプレゼンを終え、各賞発表の時をステージ上で待ちました。そして『まさか!?』1~160 列(心血管)部門 最優秀賞をいただきました。しばらくは信じられない感じでしたが、日常の業務を高く評価していただけたことに関しては本当に嬉しく感じるとともに、今までの試行錯誤しながらの経験が報われたような気がしました。そして北海道に帰ってきて、またあの場に立ちたいと強く思ったのを覚えています。私の場合もそうだったのですが、「おっ、なかなか良い検査ができたな…」という感じがありましたら挑戦してみるのも良いと思います。幸い新病院でもキヤノンユーザーでいられるので、また機会がありましたら目指してみたいと思います。

最後に今回の画論に際して、キヤノンメディカルシステムズの方々や関係者の皆さん、いつも良い刺激をあたえていただけるユーザーの皆さんには大変感謝いたします。ありがとうございました。

